

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C	令和5年3月27日
横断的な課題	地域防災力・減災力の強化					
地域重点政策	御嶽山の安全対策の推進と土砂災害の防止等					木曾地域振興局
実施機関	木曾地域振興局			担当課	所属	総務管理・環境課
事業名	御嶽山火山マイスターの育成・支援			電話	0264-25-2213	
				E-mail	kisochi-kenmin@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	ビジターセンター開館により活動フィールドの拡大が見込まれる火山マイスターのスキルアップを図り、御嶽山の魅力を内外に発信するとともに、来訪者の火山防災意識の向上につなげる。				
	現状と課題	・御嶽山では、噴火災害以降、御嶽山防災力強化計画による安全対策の取組が進み、木曾町(剣ヶ峰山頂まで)では平成30年から、また、王滝村(王滝頂上まで)では令和2年から、夏山シーズンの間、部分的に規制緩和を実施してきたところであるが、御嶽山は活火山であるという認識の低下や平成26年の噴火災害を知らず、ヘルメットを着用しない登山者も増えてきており、災害の記憶を風化させず、登山者の防災意識をどう継続させていくかが課題となっている。 ・また、令和4年2月に引き上げられた噴火警戒レベルは、6月23日にレベル1に引き下げとなったが、登山者の減少、観光面への影響も懸念されており、御嶽山の魅力をどう広く発信していくかも喫緊の課題である。 ・このような状況の中、令和4年8月27日に御嶽山の山エリア、里エリアのビジターセンターが同時開館することになった。今後の両ビジターセンターを盛り上げていくため、また開館に向けてマイスターの火山に対する知識等を高めるため、8月27日のビジターセンター開館前に、火山マイスターの更なる育成と支援を行うことが必要である。				
内容 (変更後の内容)	●マイスターの活動支援 ・ビジターセンター開館後は、同センターを活動拠点とし、火山防災の普及啓発及び内外への情報発信等において、重要な役割を担うことが期待される。マイスターによる体験講座や展示物の説明を充実させ、来訪者の満足度を高め、防災意識の向上につなげるため、活動にあたり必要な物品等を購入し、マイスターの知識及びガイド力の向上を図る。 ・8月27日両ビジターセンター開館前までに、地質学・御嶽山等関連書籍、マイスター用ユニフォーム及び来館者説明用タブレットを購入する。 ●視察研修の実施 ・マイスターのスキルアップのためのチバニアン関係機関の視察研修。 ・ビジターセンターへの展示物として使用する「地層剥ぎ取り標本等」の受け取りに合わせ、関係機関を訪問し研究者から話を聞くことで、チバニアンへの理解を深め、展示物の説明につなげていく。学術的価値の高いチバニアンについて学ぶことは、マイスターのスキルアップとなり、内外への魅力発信及び来訪者の火山防災意識の向上への効果が期待される。また、千葉県市原市ビジターセンターとの交流を通じ、情報交換の協力体制を築くとともに、今後のマイスターの活動体制構築の参考としたい。 ・詳細は、別添御嶽山火山マイスター視察研修計画書のとおり <追加> ●国際山岳医との懇談会の開催 ・国際山岳医である「大城和恵」氏(長野県出身。「御嶽山噴火災害を踏まえた山岳救助活動の高度化等に関する検討会」の委員でもあった。自身も、山岳医として著名な登山家に同行し世界の山々に登頂する経験を持つ)が、9月10日(土)午前中に両ビジターセンターを視察し、午後から木曾町役場にて講演会を行う。この午前中の視察に併せ、御嶽山火山マイスターを対象に、安全登山対策、山岳遭難予防などの知識を教授していただき、マイスターのスキルアップ、育成・支援につなげるために、国際山岳医とマイスターとの懇談会を実施する。					
	事業期間	令和4年7月		～	令和5年3月	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	マイスター活動支援	活動支援物資の購入	149,960	地質学・御嶽山等関連書籍、ビジターセンター展示用消耗品等		
	視察研修	ビジターセンター等関係機関視察・交流	360,481	バス借り上げ代、旅費等		
	国際山岳医との懇談会	懇談会謝金 マイスター旅費	68,067	講師謝金、旅費(マイスター3人出席)		
合計			578,508			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	視察研修報告会		1回以上	2回(9/20、3/20)	● 達成	
	来訪者満足度(アンケート)		7割以上	9割	○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	・視察研修について、ガイドによるチバニアン地層見学と視察前の事前学習(専門家の講義受講)の実施により、知識及びガイド力の向上において成果があった。また、関係機関との交流が、マイスターの今後の在り方、活動の方向性について考えるきっかけとなったことは、大きな成果である。 ・大城医師との懇談会では、より実効性のある安全対策についてご助言いただき、今後の活動の参考となった。 ・両事業について、マイスター定例の打ち合わせ会において報告済みである。 ・アンケートの結果、展示の充実、スタッフの対応などを含んだ全体の来訪者満足度は、93%と非常に高かった。					
今後の方向性	・今後もマイスターの活動状況の把握に努め、知識及びガイド力の更なる向上を図るための支援の在り方について、必要性も含めて検討していく。					